

小中池公園の現状と課題について

1 小中池公園

(1) 位置

小中池公園は、JR大網駅より南西約3kmに位置し、駅から徒歩40分の距離にあり、千葉市の都市公園「昭和の森」と隣接している。

自動車での広域的アクセスは、千葉東金道路山田ICから主要地方道山田台大網白里線・千葉大網線などを経由し、8.8km、約16分の距離にある。

また、近傍に設置が予定されている「(仮称)大網白里スマートインターチェンジ」の供用(平成31年3月予定)によって、アクセスは向上し、来園者の増加が見込まれる。

(2) 現状

小中池は、昭和8(1933)年に着工し、途中第二次世界大戦をはさんで多くの悪条件に悩まされながら昭和22年に完成した農業用ため池で、現在も634haの水田を潤している。

この小中池は、県立九十九里自然公園区域に指定され、「関東ふれあいの道」(環境省)のコースの内「昭和の森をたずねるみち」の通過点になっている他、日本のため池百選(平成22年 農林水産省)に選ばれている。

小中池の四季は、2月末から4月の菜の花、4月の桜、4月下旬～5月上旬には湖面の上を多数の鯉のぼりが舞う「鯉のぼり祭り」、夏はアジサイ、秋は紅葉、冬は野鳥の羽やすめの場所でありバードウォッチングと、一年を通して楽しめ市民はもとより遠方からも多くの人々が訪れる公園である。

また、池には子供たちが放流した鯉が群れを成し、その泳ぐ姿は優雅である。なお、釣りは禁止されている。

(3) 課題

園内の施設は、県内有数の規模を誇るローラー滑り台や、現在は閉鎖している全長133mの木橋、木製アスレチック、スカイロップ、コンビネーション遊具、木製ブランコ、滑り台、東屋等が整備されているが、平成8年の開園から20年以上が経過し、多くの施設が老朽化から、修理または撤去・新設する時期に来ている。

また、近傍に設置される圏央道スマートインターチェンジを利用した来遊者の受け皿として観光・レクリエーション機能を有した公園が求められている。

(4) 参考

①観光客数

(単位：人)

	H26	前年比	H27	前年比	H28	前年比
大網白里市	約 265,000	—	約 300,000	+約 35,000	約 336,000	+約 35,000
内小中池公園	約 47,000	—	約 57,000	+約 9,000	約 95,000	+約 38,000

過去3か年の観光客数については、市全体300,000人前後で推移しているなか、小中池公園については約47,000人から約95,000人と増加し、前年比2割から6割程度の増加があった。

②沿革（整備経過）

時 期	内 容
昭和11年（1936）	灌漑用のため池として、築造着手 ※池の最大水深は14.5mで有効貯水量は1,014,000 m ³ となっている。
昭和21年（1946）	第二次世界大戦中の工事休止を経て完成する。
昭和28年（1953）～ 昭和29年（1954）	漏水等の補修工事を実施する。
昭和63年（1988）	前年に発生した千葉県東方沖地震により提体が損傷を受け、復旧工事を実施する。
平成6年（1994）～ 平成7年（1995）	小中池周辺整備事業 公園施設整備工事実施
平成8年（1996）	小中池公園開園
平成17年（2005）	駐車場拡張工事

③現有施設状況

No.	名称	概要	設置年
1	木橋	全長 133m、幅員 3～5m	H7
2	ローラー滑り台	延長 95m、高低差 17.7m	H8
3	スカイロープ	ターザンロープ、滑り台、ロープ渡り	H12
4	木製アスレチック		H8
5	コンビネーション遊具	滑り台、ロープ登り	H12
6	木製ブランコ	2連	H9
7	滑り台		H9
8	鉄棒	2連	H9
9	東屋 1	大	H8
10	東屋 2	中	H8
11	東屋 3	中	H8
12	東屋 4	小	H9
13	藤棚	テーブルセット	H8
14	砂場		H8
15	トイレ	男性、女性、身障者用	H9
16	駐車場	142 台	H9・H17

④（仮称）大網白里スマートインターチェンジ

1) 概要

- （事業期間）平成 25 年度～平成 30 年度（予定）
- （連結位置）大網白里市小中
- （運用形態）一旦停止型フルインター形式（上下線）
- （運用時間）24 時間
- （対応車種）ETC 車載器を搭載の全車種

2) 設置効果

1. 観光地へのアクセス性の向上
2. 地域産業等の活性化
3. 市外救急医療施設までの時間短縮
4. 災害時の道路ネットワークの強化